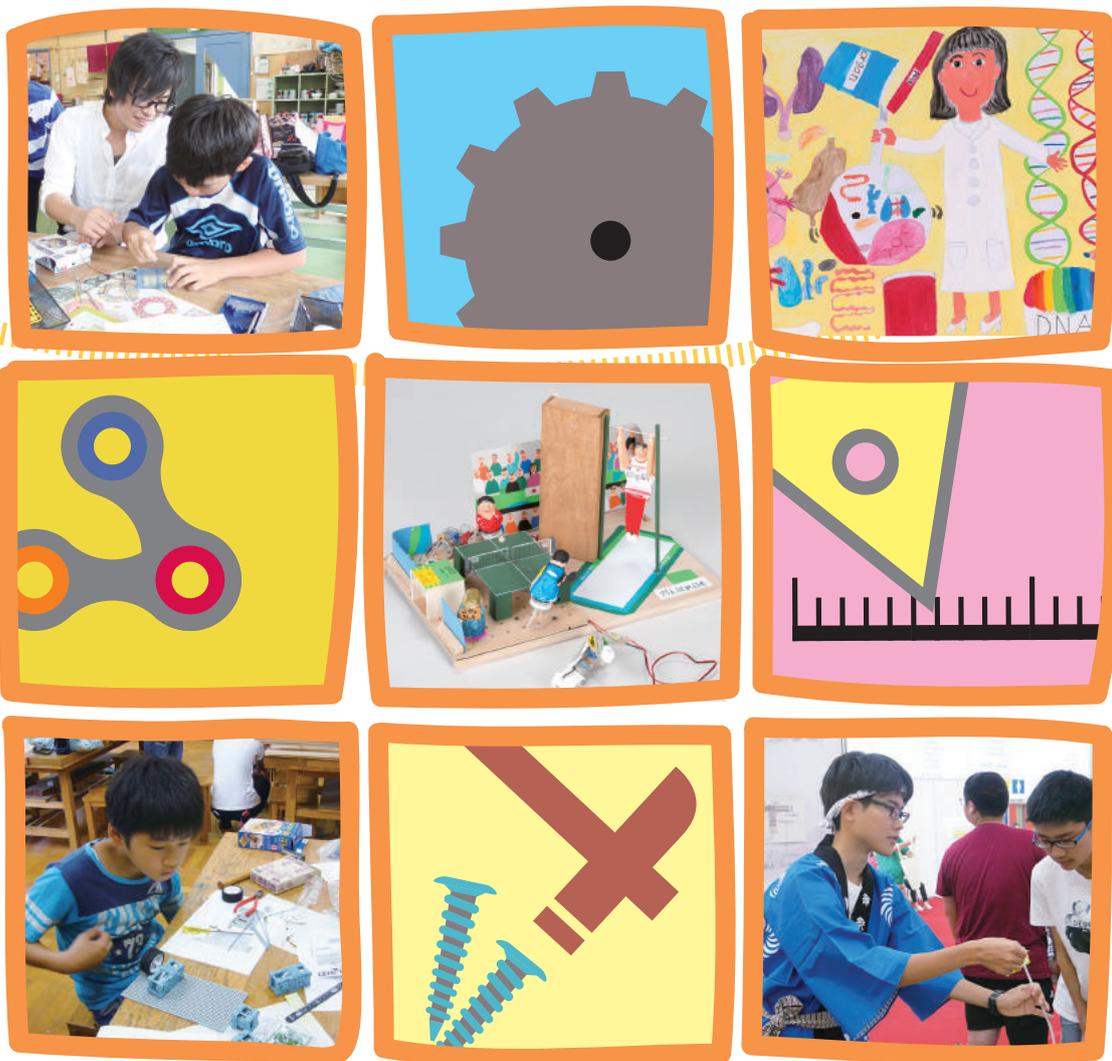


青少年創造性開発育成事業 報告書 2016

Annual Report 2016 Promotion of Young People's Creativity



「少年少女発明クラブは、科学者、技術者として大切な心構えを教えてくださいました。」

東京大学宇宙線研究所 大林 由尚さん

刈谷少年少女発明クラブOB

*在籍期間：1980年(小4)～1983年(小6)



●物理学者を志したきっかけ

鉱山の地下に巨大な空洞を掘り、5万トンの超純水を蓄えた水タンク。壁には1万本を超える超高感度の光センサー「光電子増倍管」をびっしりと配置。こんなすごい装置「スーパーカミオカンデ」は地下1000mの暗闇から毎日宇宙を観測しています。私は世界中から集まった研究者、大学院生と一緒に、この装置を使って宇宙のしくみを解き明かそうとしてきました。そして最近、5万トンではちょっと足りないという事で、10倍ほど大きな「ハイパーカミオカンデ」を何とか実現させようががんばっています。

私が研究者になろうと思った最初のきっかけは、小学5年生の頃に放映していたドキュメンタリー番組「コスモス(宇宙)」だったと思います。確か春休みの午後にまとめて再放送していたのを毎日かじりつくように見ていました。

永遠に輝き続けるように思える夜空の星も、いつかは死んでしまうことや、すごいスピードで飛行する宇宙船のなかでは、時間の進み方がおそくなるということを知り、「宇宙ってすごい、自分も謎を解き明かしたい。だから天文学者になりたい」と思うようになっていました。

刈谷少年発明クラブにて作品完成の記念写真

中学校に上がってその思いはブレて、ラジオ番組のプロデューサーやレーシングカーのデザイナー、さらにはゲームクリエイターになりたいなど紆余曲折はあったのですが、進路を決める決定打になったのは高校3年の物理の授業の最後に習ったアインシュタインの有名な式、 $E=mc^2$ に触れた時でした。この式は、質量をエネルギーに変換できるということを示し、豆粒ほどの質量から一般家庭数千世帯分の年間電力消費量に相当するすさまじいエネルギーを生み出すことができるということです。そして「質量をエネルギーに変えられればもう永遠にエネルギー問題は解決じゃないか。でもチェルノブイリの事故もあって、核分裂はだめ。もっと絶対安全なエネルギー源を見つけないと」との思いから、原子核工

学科ではなく理学部物理学科を志望することにしたのでした。小学生の時の将来像にかなり近づきました。

私のように実験装置を使って物理現象を捉えようとしている研究者は実験物理学者と呼ばれ、精密(で巨大)な装置を使って物理現象の観測データを積み上げていきます。私たちが使う装置は世界で他にないものなので、どこから買ってくるわけにはいかず、自分たちで設計し、作り上げる必要があります。ここで小学生の頃発明クラブで何度も繰り返した、工夫して装置を設計して図面を引き、自分で材料を加工して組み上げ、電子回路をはんだ付けして取り付け、うまく動かない時にはどこが悪いか考えて直す。そして自分でわからないことは周りの友達や指導員の先生に相談する、といった経験が大変大きく役立っていると思います。私が得意な「もの作り」を研究に活かしているといえるでしょう。

それぞれの得意分野を生かして研究を進める研究者ですが、必要な知識と能力は自分の専門分野だけではありません。理論物理学者が打ち立てた理論は実験物理学者が検証してはじめて正しいことがわかりますし、実験で得られた結果のうち、既存の理論で説明できないことは理論研究者と一緒に何が起きているか解明する必要があります。さらに、ほとんどの科学研究は日本人だけで行っているのではなく、世界中の研究者とコミュニケーションをとりながら研究を進めていきます。つまり、自分の好きなことについて知識を高めるのはもちろんですが、それ以外のことも幅広く知識を広げ、世界共通言語となっている英語を使ってこの知識を共有する必要があります。私は中学生の頃は英語が苦手でしたが、大好きな科学の研究にどうしても必要だったので大学院生になってからずいぶん特訓しました。今でも英語は時間を見つけては勉強しています。小・中学生のころにもっと勉強してたらなあと思って思います。



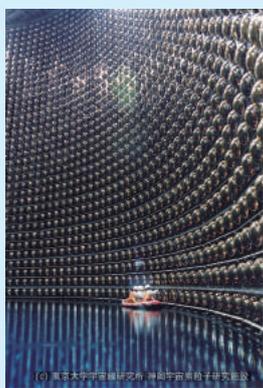
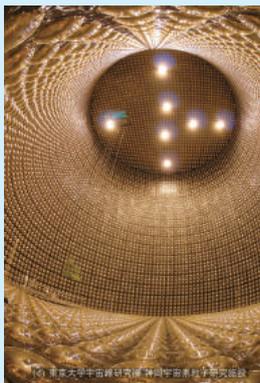
米国ボストンで開催された米国科学振興会(American Association for the Advancement of Science; AAAS)で来場者の家族連れに宇宙の研究について説明する筆者

●「スーパーカミオカンデ」での観測

世界最先端の研究を進めるといえるのは、世界でまだ誰も手にしていない宇宙の秘密を最初に知ることができるということで、このことは私たち研究者の最大のモチベーションといえます。しかし逆にいうと、誰も結果を知らない以上、長い時間をかけて研究を進めても、思ったような結果が出てこないということがあります。というか、ほとんどの場合予想と違う結果が出てくると言った方が良いかもしれません。しかし、ここであきらめないのが研究者です。スーパーカミオカンデの前身の「カミオカンデ」実験装置は、実は陽子崩壊という現象を捕まえようとして私の先輩の研究者たちが始めた実験でしたが、観測を始めてもいつまでたっても陽子崩壊は見つからず、宇宙から飛んできた粒子（宇宙線）が地球の大気と反応して作られる「大気ニュートリノ」ばかりが捕らえられていました。しかもその大気ニュートリノの反応の様子が予想と違って、実験装置がおかしいのではないかとさえいう人たちもいました。しかし、そこで諦めずにもっと大きな検出器「スーパーカミオカンデ」を作って大気ニュートリノの異常を詳細に調べたことが世界で最初のニュートリノの質量発見という大成果を生み出し、2015年の梶田さんのノーベル賞受賞に至ったのです。

2001年11月、スーパーカミオカンデは最大の危機を迎えました。水を抜いて一部の光センサーを取り替える改修作業が終わったのち、5万トンの水がもうすぐ満水になる頃のことでした。タンクの底に取り付けた光電子増倍管の一つが水圧で割れてしまい、その衝撃で次々と隣の増倍管が割れ、最終的に全体の6割に相当する6000本以上の増倍管が割れてしまったのです。急いで水中カメラを降ろして内部の様子を見たところ、超純水とは程遠いよどんだ水の向こうに見えたのは壁に残る増倍管の電極と、タンクの底に積み重なるガラスの瓦礫の山でした。そこに居合わせた誰もがこの研究はこれで終わりかなと考えたと思います。

スーパーカミオカンデ内部。直径40m、高さ40mの円筒形の水タンクの壁面にびっしりと光センサー光電子増倍管が配置されている。



スーパーカミオカンデ注水中、ボートに乗って光電子増倍管を調査している様子



スーパーカミオカンデに通じる坑道の入り口で講義を担当する学生と記念写真。著者は向かって右から3人目。他の学生さんたちは東邦大学理学部の皆さん。

しかし当時の実験代表者であった戸塚さんは全くあきらめていませんでした。事故の翌日、共同研究者だけでなく、世界中の科学者に向けて「We will rebuild the detector. There is no question. (私たちは検出器を再建する。そこに何の疑問もない)」という強力なメッセージを発信しました。私たち共同研究者はこのメッセージをうけ、一丸となって再建に取り組みました。そして文字通り不眠不休に近い原因究明・再発防止の調査を経て、本当に1年かからずに再建を成し遂げたのです。スーパーカミオカンデ最大の危機は代表者のリーダーシップと全員のあきらめない気持ちで乗り切ったといえるでしょう。

●少年少女発明クラブで学んだこと

私は、小学生の時にすごいと思った宇宙の謎にせまる研究を、大好きなものの作りを存分にしながら進められるということでも幸せな生き方を送ることができています。これがあるのは、小学生の時に発明クラブで身につけたもの作りの技術や創意工夫の心構えのおかげでもあると思っています。クラブ員の皆さんにも、ぜひ自分の好きな、得意なものを生かした未来を送って欲しいと思います。そしてそのためには、好きなものをとことん突き詰めることに加えて、幅広く様々な事柄に興味をもつこと、様々な立場のひとと交流することが重要です。また、物事がうまくいかない時もたくさんあると思いますが、簡単にはあきらめず、目標に向かって頑張ってみることも大切にして欲しいです。ただしこのとき、ただがむしゃらに突き進むのではなく、周りのひとたちの協力を得ながら、うまくいくにはどうしたらいいだろうと考える、創意工夫の心も大事にして欲しいと思います。

少年少女発明クラブには、たまたま仲の良い友人に誘われて入会したのですが、ここでは多くの工作の技術や工夫の仕方を教わりました。また、一つものを作るのにちゃんと図面を引いて必要性を説明しないとイケない、という科学者、技術者として大切な心構えを教えていただきました。小学生の時に学んだその心構えは今でも活かされているのを感じています。近所にこのような素晴らしいクラブがあったことを本当に感謝しています。当時と比べ、全国にクラブが増えているのは嬉しい限りです。今後も少年少女発明クラブが一層発展することを願っています。

目次

巻頭メッセージ

ご挨拶	3
少年少女発明クラブ	4
全日本学生児童発明くふう展	8
未来の科学の夢絵画展	10
全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	12
地域活性化アイデア創作活動	14
青少年創造性開発育成海外交流	16
メッセージ紹介	18
全国の少年少女発明クラブ一覧	20
2016年度 青少年創造性開発育成事業に係る協賛金及び寄付金	24





ご挨拶

公益社団法人発明協会

会長 野間口 有

発明協会が行う青少年の創造性育成に関する事業に対し、日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

発明協会では、子どもたちが生来持っている個性を十分に成長させるため、自由な発想や創意を育み、それを形ある物として創り上げる力を身につける手助けとなるよう、青少年創造性育成開発事業を実施しています。

本報告書では、全国 200 を超える地域で活動を行う「少年少女発明クラブ」や、チームで競い合う「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」、世界の青少年と研鑽を積む「青少年創造性育成開発海外交流」など、当協会の事業を通じて子供たちが真剣かつ生き活きと活動を行う様子を見ていただくことができます。

長年の活動を通じ、今回巻頭メッセージをいただいた大林さんをはじめ、様々な分野で多くの OB・OG が活躍するに至っています。本年 7 月に愛知県名古屋市で開催する「世界青少年発明工夫展」をはじめ、今後も様々な事業を通して子どもたちの創造性を涵養し、可能性を広げる活動を行って参りますので、皆様方におかれましては引き続きご理解、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

公益社団法人 発明協会

- ◆総 裁 常陸宮殿下
- ◆会 長 野間口 有(三菱電機(株) 特別顧問)
- ◆目 的 発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度の普及啓発等を行うことにより、科学技術の振興を図り、もって我が国経済の発展に寄与することを目的とする。
- ◆事 業 (1)恩賜発明奨励事業 (2)発明奨励振興事業
(3)青少年創造性開発育成事業 (4)知的財産権制度普及等事業

少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブは、発明協会創立 70 周年の記念事業の一環として、1974 年にスタートしました。

全国 47 都道府県に 212 か所、約 9,200 名の子どもたちと約 2,900 名の指導員が活動しています。

(2017年3月31日現在)



子どもたちが主体的に学び、学校教育とは一味違う経験をしています

「工作がしたい」、「発明がしたい」といった意欲をもった子どもたちが集まり、のびのびと自由に発想し、主体的に学びながら楽しんで活動をしています。学校は先生に教わることが中心ですが、発明クラブは様々な学年の子どもたちが自分の意思で集まって一緒に活動しています。学校とはまた一味違う楽しさや学びを得ています。



発明クラブは、地域と共に歩んでいます

活動場所は地域によって様々ですが、学校、科学館、公民館、児童館、その他の公共施設などで活動するクラブがたくさんあります。また、活動で使用する木材、電子部品などの資材を、地場を支える企業からのご厚意で提供いただくなど、町ぐるみで、子どもたちの成長を支援する場となっています。



様々な分野の経験豊かな指導員によって活動が支えられています

指導員として登録いただいている方は、地域企業の技術者、学校の先生、技術者OB・OG、教員OB・OG、学生ボランティアなどです。日ごろから、指導方法・教材の研究、指導員・発明クラブ間で情報交換を積極的に行って、熱心に、子どもたちとのふれあいを楽しみながら活動いただいています。



少年少女発明クラブ 指導員表彰

全国の少年少女発明クラブにおいて、長年、指導員として携わっていただいている方を対象にした「少年少女発明クラブ指導員表彰」の表彰式を挙行了しました。

【平成27年度 少年少女発明クラブ指導員表彰】

■表彰概要

対象者：発明クラブ指導員として10年以上継続して活動されている方

受賞者：54名

■表彰式

会 期：平成29年2月24日(金)

会 場：東京都港区・発明会館ホール

※第80回少年少女発明クラブ全国会議と併せて実施



豊田少年少女発明クラブ(愛知県)



奥村 乙一 先生(34歳) 指導員歴：10年(2006年～)

★参加のきっかけ

勤務先の会社が長年クラブの支援に取り組んでおり、上司や先輩に誘われて自然と参加するようになりました。

★発明クラブ指導員のやりがい

小学生にとってはとても難しい電子工作に興味を持って取り組んでもらったり、作品を完成させて喜んでもらったりすることです。

★メッセージ・今後の抱負

発明やものづくりというものは一筋縄ではいかないものですが、困難を乗り越えてひらめきを形にする素晴らしさや達成感を伝えていきます。そこから日本のものづくりを支える小中学生を育成していきたいと思います。

奈良市少年少女発明クラブ(奈良県)



北出 美弥子 先生(58歳) 指導員歴：14年(2002年～)

★参加のきっかけ

以前から工作が好きで、小学校のコンピュータ授業の指導員として勤務するようになり、ロボットの実験授業の補助に入り活動したのがきっかけで、発明クラブに誘われ参加するようになりました。

★発明クラブ指導員のやりがい

ものづくりの得手不得手、様々な子どもたちが参加しています。一生懸命に取り組んでも最後までできなったり、失敗したりすることもあります。しかし、その子どもたちが閉講式の日、楽しかったと言ってくれる場面に出会った時はやりがいを感じます。

★メッセージ・今後の抱負

ものづくりの楽しさや、工夫して新しいことを発見したり創造したりする喜び、失敗から学んでゆく楽しさを子どもたちとともに共有できるように活動していけたらと思います。

はつめいクラブ センパイ図鑑

発明クラブ卒業生たちの その後の活躍をご覧ください



**「根気よく、何度でも挑戦する」ことは、
発明だけでなく、勉強・運動・仕事にも
必ず役に立ちます！**

杉山 永里子さん (27歳)

湖西少年少女発明クラブ (静岡県)
小4の時にクラブ員として活動



プロフィール

北里大学薬学部を卒業後、現在は調剤薬局にて薬剤師として勤務しています。

薬剤師の仕事は、患者さまの症状や薬に関する不安を聞き出し安心していただくことが大切です。患者さまの中には、自分から不安を話すことが出来ない方もいます。こんなときは、根気よく、何度でも方法を変えて聞き出すなど、発明クラブで学んだことがとても活かされています。

メッセージ

普段の生活の中で、不便に感じることは意外とあります。そこから発明のヒントが生まれるかも知れません。もし、一人でアイデアを形にできなくて行き詰まったら発明クラブの先生方に相談することができます。

発明クラブで学び得た考える力・工夫する力・失敗しても諦めない姿勢は、今後の生活や勉強、そして仕事においても必ず役に立ちます。私もそうでした。自分のアイデアを大切に、様々な活動に励んで欲しいと思います。



杉山さんの作品、「コインボックス」。湖西発明くふう展にて湖西ライオンズクラブ会長賞に入賞しました。



**「アイデアを形にできた時の達成感」は、
今でもはっきりと覚えています。**

小木曾 純さん (29歳)

多治見市少年少女発明クラブ (岐阜県)
小4～小6までの3年間、クラブ員として活動。

プロフィール

キクチ眼鏡専門学校卒業後、キクチ眼鏡で2年間勤務、現在は、多治見市内の実家のメガネセンターハヤシで眼鏡作りをしています。

お客さん一人ひとりに合わせて眼鏡作りをしています。お客さんの視力や希望に合わせて作るので、一つ一つ手作業です。その過程に金属のロウ付けやレンズの加工があります。これがハンダ付けやアクリル板加工によく似ていて、クラブで習ったことがほとんどそのまま活かされています。また、レンズを削ったり、フレームを加工したりと、細かい作業を正確に行うことができるのも、当時から積極的に取り組んできたおかげなのかな。子どもの頃は全く意識していませんでしたが、大人になって自分の仕事に活かせることをとてもうれしく思っています。

メッセージ

僕はモノを作ることが好きで楽しく学ぶことができていました。当時大人から教わったことは、自分が大人になってから活かしていることに気がきます。

今、自分が「好きなこと」を大切にしながらがんばることが、大人になってからも色々なことを楽しく取り組む秘訣だと思います。



発明クラブの経験を活かして、
ICT (情報通信技術) を活用できる
国語の先生に！

宮澤 宏枝さん (21 歳)

安城市少年少女発明クラブ (愛知県)

小4～中3までの6年間、クラブ員として活動。大学生になってからは、安城少年少女発明クラブの後輩を指導し、一緒に悩みながら楽しく活動しています。

プロフィール

愛知教育大学中等教育教員養成課程国語・書道専攻3年生。
現在は、メディア・リテラシー教育について学んでいます。

メッセージ

私は発明クラブで、ちょっとしたアイデアで生活の中での不便なことを便利にできることを学びました。そのアイデアをひらめくことが難しいのですが、その分、私の発明で誰かが喜んでくれた時の嬉しさや達成感がとても大きくなることも実感してきました。

発明クラブの先生方は、アイデアを形にするためのアドバイスをくださいますので心強いです。

現在私は、まだまだ勉強させられることばかりの発明クラブ指導員ですが、自分が発明クラブに通っていた頃の経験を活かして、クラブ員のみならず一緒に頭を悩ませながら、頑張っています。他の先生方のように、アイデアを形にするために的確なアドバイスができるようになりたいです！将来は、教員を目指して大学で勉強しています。



発明クラブの経験は、
作業療法士の仕事にも活かされています！

本間 悠暉さん (25 歳)

札幌中島少年少女発明クラブ (北海道)

小4～中3までの6年間クラブ員として活動、現在はクラブ指導員として活動中。

プロフィール

北海道文教大学人間科学部作業療法学科卒業。リハビリに必要な身体や心のしくみを勉強し、心に病を持っている患者さんの研究を行いました。卒業後、医療法人澤山会手稲病院に勤務、患者さんに社会復帰の訓練を行っています。

作業療法士の仕事は、心の病のリハビリのひとつ作業療法で患者さんと一緒に工作やレクリエーションなどを行うことです。工作には集中する力を高め、会話が自然に生まれる効果があります。工作をしている時、気付かないうちに作業にのめりこんだりする経験がありませんか？ 気が散ってしまう人、うまく人と話せない人には、工作しながら治るよう支援しています。

メッセージ

発明クラブではアイデアを考えて、それを実際に作ってみて、失敗して、やりなおして、自分でいろいろなことを創意工夫する機会が多いと思います。学校の授業ではなかなか得られない経験を体験しているのです。私が働く医療の場でも、患者さんの病気がどうすればよくなるかな？ といつも考えます。アイデアはとても大切です。

発明クラブの活動を頑張ること、それは必ず将来の自分のためになると思うので継続して欲しいと願っています。



恩賜記念賞

作品名「がんばれ日本」



君津市立南子安小学校(千葉)

4年 小石川 洋介 さん

※学校・学年は応募時のものです。



小さい子供のためのおもちゃや、お年寄りが便利になる道具など、みんなが喜ぶようなものを作りたいと思います。

リオ・オリンピックでは、特に体操の鉄棒と卓球に感動したので、工作で作ってみようと思いました。鉄棒は発電機で電気を作って回るようにしたので、速さや回る向きを自由に変えられます。また、よく見ると体操選手は肩や腰を動かして勢いをつけているので、人形をいろいろ試して本物のような動きができるように工夫しました。卓球は、クランクで玉を前後に動かして、てこの原理で速い玉の動きにしました。また、磁石スイッチで電圧を変えると、もっと速い打ち合いにできます。

第75回全日本学生児童発明くふう展

全国各地域にて開催された発明くふう展において優秀な成績をあげた768点の作品が各地域から推薦されました。



■展覧会

会 期：平成29年3月22日(水)～3月26日(日)

会 場：東京・北の丸公園 科学技術館1階 展示・イベントホール

■表彰式

会 期：平成29年3月22日(水)

会 場：東京・北の丸公園 科学技術館地下2階 サイエンスホール

■受賞内訳

恩賜記念賞…1件、特別賞…13件、奨励賞…20件、入選…122件
計156件

■主催・後援

主催：公益社団法人発明協会

後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、

日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、

公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館、

全国連合小学校長会、全日本中学校長会、

全国高等学校長協会、公益社団法人全国工業高等学校長協会



本展覧会は、子どもたちにもものづくりを通じて、創作の喜びや発明くふうの楽しさを知ってもらい、その創造力を育てることを目的に開催しています。夏休みの自由研究、発明クラブ活動の中から生まれた作品、ユニークな生活用品など、アイデアに満ちた作品が全国から出品されています。

発明くふう作品の展示以外にも、協賛企業等による発明教室、電子顕微鏡や模倣品などの特別展示も実施しました。

3/23 Thu.

くるま育はんどるさん

講師：トヨタ自動車株式会社
未来プロジェクト室
くるま育研究所の皆さん

身のまわりのモノをクルマに「見立て」、そこから生まれる物語を創造しました。



3/24 Fri.

発明について学び、 発明工作をしてみよう！

講師：日本弁理士会関東支部
弁理士の先生方

「発明とは?」「特許とは?」を学び、課題を解決するための発明を自分で考えて工作をしました！



3/25 Sat.

静電気と遊んでみよう！

講師：三菱電機株式会社
人材開発センターの皆さん

身近な静電気を使って、ベルを鳴らしたり、モーターを回したり色んな実験をしました。



3/26 Sun.

本づくりのひみつ ～“リングとじ”の発明ノートを作ってみよう！～

講師：大日本印刷株式会社の皆さん

本がどのような工夫をして出来ているのか、印刷が色をどのような仕組みで表現しているのかを学び、自分だけの発明ノートを作りました。



特別展示コーナー(3/22～3/26)

知っているものの知らない世界！ 電子顕微鏡で見よう！

協力：株式会社日立ハイテクノロジーズ



ホンモノ? ニセモノ? 君はわかるかな?

協力：国際知的財産保護フォーラム (IIPPF)



善ちゃんのサイエンス教室(3/22～3/26)



テレビでもおなじみのサイエンス演芸師「善ちゃん」こと北沢善一先生が、会場に来てくれました！

3月22日にはサイエンスショーを開催。会場は大盛り上がり！



3月22日～26日 善ちゃんのサイエンス教室。宝石万華鏡、スーパーボールロケット、ストローグライダーなど、いろいろなものを作りました。



文部科学大臣賞



私は、この作品を通じ命の大切さを知りました。この「DNAねんど」のような発明が実現され、一人でも多くの方が健康で、不公平がなく、命をつないでいける世の中になってほしいと願っています。

静岡県立蒲原西小学校 (静岡県)

3年 ^{まつなが}松永 ^{はるか}悠伽さん

※学校・学年は応募時のものです。



作品名 「DNAねんど」

ぞうきいしょくは体に合ったドナーを見つけるのが大変です。そこで、その人に合ったDNAを入れてぞうきを作り、一人でも多くの人の命を守りたいです。

第39回未来の科学の夢絵画展



■ 展覧会

会 期：平成29年4月14日(金)～4月23日(日)
会 場：国立科学博物館 日本館地下1階 多目的室

■ 表彰式

会 期：平成29年4月21日(金)
会 場：国立科学博物館 日本館2階 講堂

■ 受賞内訳：

応募総数：9,460点

	特別賞	優秀賞	奨励賞	合計
小学校・中学校の部	11	50	70	131
幼稚園・保育園の部	1	5	40	46
外国人学校の部	1	5	10	16
合計	13	60	120	193

■ 主催・後援

主催：公益社団法人発明協会
共催：国立科学博物館
後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、公益社団法人日本美術連合、公益財団法人美育文化協会

本絵画展は、未来への夢を自由な発想によって絵に表現することで、科学への関心を高めてもらうこと目的として開催しています。構図、色使い、コメントなどのすべてに青少年が科学に見る夢を感じ取ることができます。



経済産業大臣賞

「会話が見えるメガネ」



由利本荘市立矢島小学校(秋田県)

5年 秋山 春菜さん

このメガネを考えたきっかけは、おばあちゃんの耳が聞こえにくいからです。会話がふきだしになって見えます。また、ふつうのメガネとしても使えます。

(幼稚園・保育園の部)

発明協会会長賞



「ママの怒りメーター操縦ハンドル」



山鹿市立山鹿幼稚園(熊本県)

佐藤 暁乃介さん

メーターで「怒る」、「イライラ」、「悲しい」がわかります。僕がハンドルを上にする、と、ポーっとゆっくりでき、左は優しく、右はずっとにっこり笑うになります。



特許庁長官賞

「らくらく便利移動かさ」



岡山大学教育学部附属小学校(岡山県)

4年 武久 文香さん

通学や、つえをついたお年より、小さな子どもをだいたお母さんが、雨にぬれないように、移動するかさを開発しました。重い手荷物がある時大変便利です。

(外国人学校の部)

発明協会会長賞



「カロリー箸」



東京韓国学校(東京都)

9年 朴 昭眞さん

この箸で食べ物をつかむと、その食べ物のカロリーがわかって、食べすぎを防ぐことができます。ダイエット中の人には、うれしい商品です。

※学校・学年は応募時のものです。

展示会場は
多くの来場者で
賑わいました。



課題 からくりパフォーマンスカー



文部科学大臣賞



特許庁長官賞



チーム名 国またぎ組 (愛知県代表)

作品名 BEM VINDO AO BRASIL (ようこそブラジルへ)

山車1号車からは聖火台が現れ点火式が行われました。山車2号車はリオのカーニバルがどんでん返し！扇子が広がり富士山が現れました。

チーム名 ドラゴンシップ (山形県代表)

作品名 平和～思いやり・たすけ合い～

動力車では、人や鬼が争うことを竜が怒っています。山車1号車では助け合いながら「芋煮」を作っています。山車2号車は平和な世界を表現、気球が舞い上がりました。

第7回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト結果

■地区大会

会 期：平成28年7月～9月
 参加都道府県：37都道府県
 実施地区数：82地区
 参加チーム数：640チーム

■全国大会

会 期：平成28年11月26日(土)
 会 場：東京工業大学 屋内運動場
 出場チーム数：60チーム
 (うち、上位20チームが決勝進出)

■主催・後援・特別協賛

主 催：公益社団法人発明協会
 後 援：文部科学省、経済産業省、特許庁、
 東京工業大学、日本弁理士会、
 NHK、読売新聞社、
 全国連合小学校長会、全日本中学校長会
 特別協賛：株式会社荏原製作所



コンテスト概要

コンテスト課題：「からくりパフォーマンスカー」

コンテスト内容：未来・環境・宇宙・スポーツ・地元などPRしたいものを紹介

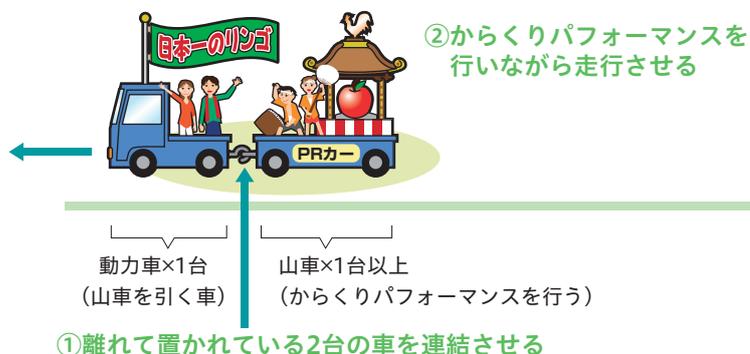
■課題

制限時間1分で、2つの課題をクリア

- ①動力車と山車を連結
- ②パフォーマンスを行いながら走行

■審査のポイント

- ・走行の正確さ
- ・パフォーマンス内容
- ・作品（山車・動力車）の工夫点
- ・作品プレゼンテーション（決勝のみ）



全国大会結果

表彰区分	賞名	地域	チーム名	作品名
特別賞 (金メダル)	文部科学大臣賞	愛知県	国またぎ組	EM VINDO AO BRASIL (ようこそブラジルへ)
	特許庁長官賞	山形県	ドラゴンシップ	平和～思いやり・たすけ合い～
優秀賞 (銀メダル)	発明協会会長賞	千葉県	荔枝(ライチ)	松戸の梨
	発明協会会長賞	東京都	IHI	町田・相模原の空からRYUGUへ
	発明協会会長賞	佐賀県	クリーニング屋	竹の鼓笛隊
	JKA会長賞	広島県	ひろしまのおいしい“かき”を食べ隊	ひろしまのおいしい“かき”を召し上げ
	荏原製作所賞	愛知県	碧南BOYS	宇宙へLet's Go 新たなSpace Frontierへ
	日本弁理士会会長賞	兵庫県	六甲おろし	神戸のお祝い
	NHK会長賞	茨城県	OKチーム	未来ツアー・案内ロボット
	読売新聞社賞	兵庫県	宇宙へ	宇宙に行きたい
	WEBポイント賞	徳島県	科学発明チーム	宇宙人がやってきた





山梨県都留市

つる 「都留のはつめいキッズが町興しに取り組みました！」

概要

地域活性化アイデア創作活動とは、地域の課題を子どもたちのユニークなアイデアで解決しようという取り組みです。山梨県 都留少年少女発明クラブのみんなで11月の都留市文化祭での発表をめざしてがんばりました。

- 活動日 全4回 平成28年6月25日(土)、7月9日(土)、8月6日(土)、11月1日(火)～3日(木)
- 参加者 都留少年少女発明クラブ員9名、指導員・都留市教育委員会 他
- 会場 都留市立谷村第一小学校(製作会場) ぴゅあ富士(発表会場)
- 主催 公益社団法人発明協会

第1回目

まずは、自分たちの地元“都留市”をもっと知ろう!ということで、都留市教育委員会・都留市役所の職員の方からお話しを伺いました。

「都留市にはみんなが普段目にしていないものでも、外の人から見ると価値がある見どころがたくさんあります。もっと多くの人に知ってもらえるように、クラブ員の皆さんのひらめきパワーでアイデアをお願いします！」



2班に分かれて作戦会議。



模造紙にアイデアをまとめ、発表しました!



【まとまったアイデア】

- ◇都留市が誇る小水力発電所を模型でPR。
- ◇リニアモーターカーの実験線を実走模型でPR。
- ◇八朔(はっさく)祭をからくり山車で再現。

★Point★

アイデア創作活動では、ものづくりに加えて、仲間とディスカッションしたり、みんなの前でプレゼンテーションすることを大切にしています。

活動第2回目と第3回目は、班ごとにPR作品の製作に全力で取り組みました。

ギアボックスの組み立て



基盤のハンダ付け

自転車のホイールを加工して水力発電機を製作中。



リニアモーターカーのPR作品を作っています



11月1日(火)～3日(木)、都留市文化祭会場に都留少年少女発明クラブのブースを出展し、都留市の見どころをPRする製作物の展示・紹介とプラ板を使った公開工作教室を行いました。

都留市にはリニアモーターカーの走行試験が見学できる施設があります。

この作品は、リニアモーターカーが地元のお祭り“八朔祭”の山車を牽引するPRマシンです。



都留市には、富士山の麓、水資源が豊富で街を流れる川を利用し発電を行う、環境に負荷をかけない水力発電所がいくつもあります。この作品は、小型の水力発電機“はなまる君”です。

自転車のホイールやお椀を使って製作し、都留市の自然エネルギー活用をアピールしました。

ご来場いただいた皆さまへ、発明クラブ員が作品説明とデモンストレーションを行いました。



9名のクラブ員も作品説明やプラ板工作指導に大忙しでした。

中華人民共和国派遣団全員が受賞！2016 IEYI(世界青少年発明工夫展)



イベント概要

本展は、アジアを中心とした国・地域の若き発明家が集い、毎年、主催国を変えて開催されています。2016年度は、中華人民共和国・ハル濱(ハルピン)市で開催されました。

- 名称 2016 International Exhibition for Young Inventors (世界青少年発明工夫展)
- 開催期間 平成28年7月16日～18日(派遣期間 7月13日～20日)
- 会場 哈爾濱国際会展体育中心
- 主催 中国教育国際交流協会
- 参加国・地域 日本、中華人民共和国、インドネシア、エジプト、シンガポール、マレーシア、タイ、台湾、香港、マカオ
- 参加作品数 創作品94作品

【日本代表の成績】

「全日本学生児童発明くふう展」「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」で優秀な成績を収めた青少年計11名で構成された日本代表団は、金メダル2個、銀メダル3個、銅メダル3個、各国特別賞4個を獲得し、全員受賞という素晴らしい成果を挙げました。



第73回全日本学生児童発明くふう展受賞者

黒澤龍之介	銅メダル、マカオ特別賞
水口翔太郎	金メダル
渡邊 彩	銀メダル
荒川 和樹	銅メダル・中国特別賞
神谷 昇	銀メダル
先崎 悠平	銅メダル・台湾特別賞
小倉 広夢	銀メダル
安藤 彩乃	金メダル

第5回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト受賞者

久保 明弘	タイ特別賞
西村 伊織	
佐々木稜太郎	

開会式



展覧会 初日

海外の人に説明するのは初めての経験。
初日はかなり緊張しました。



二日目

二日目には徐々に自信とコツが身に付いてきました。来場者や審査員への説明にも熱が入ります！



最終日

最終日ともなると他国の出品者とのコミュニケーションも活発になります。中にはSNSの連絡先の交換をするほど仲良くなった団員も。皆、積極的に海外交流を図りました。



表彰式

展覧会終了後に表彰式が行われ、日本団は全員受賞しました。日常生活では得られない経験をした派遣団員の今後の活躍に期待します。



応援メッセージ

イノベーションを生み出す 基礎力が身につく

国立大学法人 東京工業大学
学長相談役・名誉教授 清水康敬先生



◆ Profile ◆

東京工業大学教授、国立教育政策研究所教育情報研究センター長、独立行政法人メディア教育開発センター理事長、国立大学法人東京工業大学監事を歴任。電磁波工学、弾性表面波工学、教育工学の研究に従事。工学博士。

全日本学生児童発明くふう展は昭和16年にスタートし、今年度で第75回となりました。私は、審査委員を30年間も務めさせていただき、最後の10年間は委員長として、実際に作品に触れながら子どもたちの発想や特徴に感激しながら慎重に審査をしてきました。

それらの作品には、特許や意匠登録を取得した作品や、日常生活の中で課題を見つけて解決した作品、お年寄りや障害者に対する思いやりあふれる作品、省エネの作品、地震災害やオリンピックなどその年の話題に関係した作品、教育的な作品などが多くありました。

この全国的な発明くふう展の作品を考えて完成することによって、イノベーションを生み出す基礎力が身につきますので、将来が楽しみです。

はつめいキッズからのメッセージ

※学校・学年は応募時のものです。

第75回全日本学生児童発明くふう展 恩賜記念賞受賞



こいしかわ ようすけ
小石川 洋介さん

君津市立南子安小学校4年(千葉県)

作品名
「がんばれ日本」

僕は昨年夏休みに、電池とモーターを使って工作を作ろうと思いました。何を作ろうかと迷っていた時に、オリンピックが始まりました。日本選手の活躍が期待される競技は、何回も放送されていました。中でも、体操競技の鉄棒は、とても迫力があつたので、工作で作ってみたいになりました。

モーターのギアに付いているシャフトを、そのまま、鉄棒として使うことを思いついたので、電池をつないで回してみましたが、回り方が不自然な感じがしました。

そこで、発電機を使ってみたら、回し方を自由に調節できるようになりました。なによりも、自分で回しているという手ごたえが面白くなりました。

しかし、まだ動きが不自然なので、テレビをよく見て研究しました。すると、まっすぐに見える鉄棒選手も、腕や足を前の方に振って勢いを付けていて、鉄棒の下の方では速くなっていました。この鉄棒選手の人形は、リサイクルする食品トレーで作ったので、何個も作って試すことができました。いろいろ工夫して、足の先に重りをつけてみたら、勢いがついて、少し本物らしい動きになりました。

また、オリンピックでは、卓球の男子が、初めてメダルを取りました。卓球の球は小さいですが、選手は体を大きく回して、すごく速い球を打っているのに、相手のコートに吸い付くように落ちていました。

そこで、モーターとクランク、ピアノ線などを使って作り、滑らかに動くように、カードケースやペットボトルを利用し、電池の数を切り替えて、速いラリーもできるようにしました。

作っている途中で、うまく動かないこともありましたが、ちょうど良い材料を見つけたり、うまく行きそうな方法を思いついたときは、ワクワクするような気持ちになりました。

今回の作品は、いろいろ作り直したので、手間がかかりました。でも、見た人が「おもしろい」とか「すごい」と言ってくれると、とても、うれしくなりました。

僕が、ちょっと迷ったり、悩んだりして工夫したことで、喜んでくれる人がいるなら、これからも工夫する気持ちを忘れないようにしようと思います。

(表彰式答辞より抜粋)

第39回未来の科学の夢絵画展 文部科学大臣賞受賞



まつなが はるか
松永 悠伽さん
静岡市立蒲原西小学校3年(静岡県)

作品名 「DNAねんど」

私は毎年夏休みの課題で、『未来の科学の夢絵画展』に応募することを楽しみにしています。私のしょう来の夢は研究家になることです。幼稚園の時に知った野口英世さんに憧れて研究家になりたいと思っています。だから、自分がしょう来こんなことが出来ればいいな、と思った事を絵にしています。

今年の絵は、去年の絵画展でも特別賞をいただいた絵に登場した女性、まさ子さんが大人になって研究所に戻ってきたからのことを描きました。右がわにいる男性が助手のさとしさんと、一緒に研究をしています。何の研究をしているかという、ぞうきの研究をしています。

海外で心ぞう移植のドナーを探している、はなちゃんという赤ちゃんがいます。私が習っている空手の先生からチラシをもらって知りました。空手のし合では募金活動もしていま

した。はなちゃんのお父さんは空手の先生だそうです。心ぞう移植にはお金が三億一千万円もかかると聞いてびっくりしました。しかも、ドナーはなかなか見つからないそうです。なぜそんなにお金と時間がかかるのかぎ間に思いました。私はそれよりも安く、ドナーよりも自分に合ったぞうきを移植したかったのでこの絵を描きました。工夫した点は、ただ安いぞうきを作るのではなく、その人に合ったDNAを入れた方が安全だと思ったので、DNAをねん土にして入れた所です。この夢が現実に行けると、お金がかからず、すぐに移植できるのでみんなからよろこばれます。

はなちゃんは現在、アメリカに行って無事に移植ができたこと知り、すごく良かったと思います。このまま幸せに生きてもらえたらいいな、と思っています。

今回の受賞をきっかけに、ぞうき移植のこと、DNAのことについて本で調べて、命の大切さを知りました。移植にはいろいろな問題があることも知りました。一人でも多くの人がけんこうで、不公平がなく、命をつないでいける世の中になってほしいです。子どもの私も、もっといろいろなことを知らないといけないと思います。

(表彰式答辞より抜粋)

平成28年度 青少年創造性開発育成海外交流 International Exhibition for Young Inventors (2016 IEYI)

銅メダル、マカオ特別賞受賞

くろさわ りゅうのすけ
黒澤 龍之介さん
北海道室蘭栄高等学校1年(北海道)



作品名

「垂直回転軸平行車輪による全方向走行システム」

今回のIEYIでは、様々なことを学びました。まず、英語での発表についてです。僕が今回のIEYIにあたって準備したことは、説明の英文を大まかに暗記したのと英語での掲示物です。全文暗唱して下手な発音で長々と読むより、重要な文をはっきりと大きな声で言ったほうが俄然伝わりやすかったです。また、英語で質問された場合はすべて聞き取るのは難しいので聞き取れた単語から意味を推測して答えました。何より言葉で伝わりにくい部分は、実際に動かし実演するとよく理解してもらえました。現地の中国人の来場者は、あまり英語を理解していない人が多いので、中国語での配布物を渡したり実際に見てもらおうなどして説明しました。

次に、海外の参加者の作品は、実用性が高い作品が多いと感じました。その要因の一つは、発明に対する考え方の違いにあると思います。会場内で海外の先生とお話しをする機会があったのですが、その先生は、こうおっしゃっていました。「発明はビジネスだ。特許を取らないと意味がない。」僕はこの話を聞いたときに、発明ということ一つとってもそれぞれ

の国で考え方に違いがあるのだなあと感じさせられました。また、台湾や中国の参加者は英語ができる人が多かったと実感しました。そのため、僕の拙い英語でも積極的に話しかけていけば結構仲良くなることができ良かったです。この経験からやはりこれからは、海外の人と交流するときは英語が重要になると思います。僕も将来的には、外国で生活し英語をもっと話せるようになりたいと思いました。

また、団員の中でもみんなとても仲良くなることができました。日本から作品が送られてきたとき、みんなそれぞれ少しずつ壊れている部分があり、それを直すために工具を貸しあったり、手伝ったりすることでより絆が深まったと思います。

僕の次の目標は、発明で得たスキルを使ってロボコンに出場することです。以前もやっていたのですが今度は完全な自動運転のロボットを作って出場したいと思います。目標達成のためこれからも頑張っていこうと思います。

■北海道・東北

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
1	北海道	札幌中島少年少女発明クラブ
2		旭川少年少女発明クラブ
3		函館少年少女発明クラブ
4		小樽少年少女発明クラブ
5		帯広少年少女発明クラブ
6		札幌西少年少女発明クラブ
7		北見少年少女発明クラブ
8		苗穂少年少女発明クラブ
9		釧路少年少女発明クラブ
10	青森県	十和田市少年少女発明クラブ
11		八戸市少年少女発明クラブ
12		弘前市少年少女発明クラブ
13		青森市少年少女発明クラブ
14		五所川原市少年少女発明クラブ
15		黒石市少年少女発明クラブ
16		三沢市少年少女発明クラブ
17		小泊少年少女発明クラブ
18		平川市少年少女発明クラブ
19		六ヶ所村少年少女発明クラブ
20	板柳町少年少女発明クラブ	
21	岩手県	盛岡市少年少女発明クラブ
22		奥州市少年少女発明クラブ
23		北上市少年少女発明クラブ
24		大東町少年少女発明クラブ
25		花巻少年少女発明クラブ
26		一関市少年少女発明クラブ
27		宮古市少年少女発明クラブ
28	宮城県	仙台市泉少年少女発明クラブ
29		仙台市太白少年少女発明クラブ
30		仙台市青葉少年少女発明クラブ
31		大和町少年少女発明クラブ
32		大衡村少年少女発明クラブ

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
33	秋田県	大館少年少女発明クラブ
34		本荘少年少女発明クラブ
35		秋田市少年少女発明クラブ
36	山形県	山形少年少女発明クラブ
37		鶴岡少年少女発明クラブ
38		東根少年少女発明クラブ
39		三川少年少女発明クラブ
40		米沢少年少女発明クラブ
41		最上少年少女発明クラブ
42		天童少年少女発明クラブ
43	福島県	福島市少年少女発明クラブ
44		郡山市少年少女発明クラブ
45		南相馬市少年少女発明クラブ
46		会津若松市少年少女発明クラブ
47		喜多方市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2016年7月号
はつめいプリンス

札幌市中島少年少女発明クラブ(北海道)

桂川 繕維さん(小6)

お姉さんと一緒に
小学1年生から発明クラブに通う
ものづくり大好き少年です。第5回、第
6回チャレコン全国大会出場しました。
率先して紙模型を作り、チームでは動く
歩道や新幹線を往復させるアイデアを
出しました。青函トンネルを越えて
新函館北斗駅にやってくる
北海道新幹線の期待と喜びを
形にしました。



■関東

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
48	茨城県	水戸少年少女発明クラブ
49		ひたちなか少年少女発明クラブ
50		石岡少年少女発明クラブ
51		日立少年少女発明クラブ
52		牛久市少年少女発明クラブ
53		栃木県
54	群馬県	前橋少年少女発明クラブ
55		高崎少年少女発明クラブ
56		桐生少年少女発明クラブ
57	富岡少年少女発明クラブ	
58	埼玉県	加須市少年少女発明クラブ
59		さいたま市少年少女発明クラブ
60		新座市少年少女発明クラブ
61		川口市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2016年5月号
はつめいプリンセス

安城市少年少女発明クラブ(愛知県)

深津 京可さん(中1)



5年生から発明クラブに入り
「未来の科学の夢絵画展」に応募して
「振興賞」「奨励賞」と2年連続で受賞し
ました。今年の絵画は目の不自由な
人や小さい子でも何が書いてあるか
わかるルーペを絵にしてみました。
これからもいろいろな事に
挑戦します。

■中部

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
62	千葉県	千葉市少年少女科学クラブ
63		八匝少年少女発明クラブ
64		松戸市少年少女発明クラブ
65		旭少年少女発明クラブ
66		佐倉少年少女発明クラブ
67		茂原少年少女発明クラブ
68		市原・袖ヶ浦少年少女発明クラブ
69		船橋市かつしか少年少女発明クラブ
70		東京都
71	調布少年少女発明クラブ	
72	おおた少年少女発明クラブ	
73	町田市少年少女発明クラブ	
74	神奈川県	横浜中田少年少女発明クラブ
75		川崎少年少女発明クラブ
76		川崎さいわい少年少女発明クラブ
77		川崎北部少年少女発明クラブ
78		海老名市少年少女発明クラブ
79	長野県	大町少年少女発明クラブ
80		長野少年少女発明クラブ
81		松本少年少女発明クラブ
82		飯田少年少女発明クラブ
83	山梨県	甲府少年少女発明クラブ
84		都留少年少女発明クラブ
85		身延町少年少女発明クラブ
86	静岡県	湖西少年少女発明クラブ
87		三島市少年少女発明クラブ
88	新潟県	十日町少年少女発明クラブ
89		新潟市少年少女発明クラブ
90		上越市少年少女発明クラブ

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
91	愛知県	刈谷少年少女発明クラブ
92		豊田少年少女発明クラブ
93		大府市少年少女発明クラブ
94		西尾市少年少女発明クラブ
95		東海市少年少女発明クラブ
96		安城市少年少女発明クラブ
97		高浜市少年少女発明クラブ
98		半田市少年少女発明クラブ
99		岡崎市少年少女発明クラブ
100		知立少年少女発明クラブ
101	岐阜県	碧南市少年少女発明クラブ
102		一宮少年少女発明クラブ
103		阿久比町少年少女発明クラブ
104		豊川少年少女発明クラブ
105		名古屋少年少女発明クラブ
106		蒲郡少年少女発明クラブ
107		豊橋少年少女発明クラブ
108		大口少年少女発明クラブ
109		北名古屋少年少女発明クラブ
110		日進市少年少女発明クラブ
111	三重県	田原市少年少女発明クラブ
112		愛知みよし少年少女発明クラブ
113		幸田町少年少女発明クラブ
114		岐阜市少年少女発明クラブ
115		各務原市少年少女発明クラブ
116		大垣市少年少女発明クラブ
117		多治見市少年少女発明クラブ
118		瑞穂市少年少女発明クラブ
119		津市少年少女発明クラブ
120		富山県
121	河芸少年少女発明クラブ	
122	桑名市少年少女発明クラブ	
123	石川県	高岡少年少女発明クラブ
124		黒部少年少女発明クラブ
125		小杉少年少女発明クラブ
126		砺波市少年少女発明クラブ
127		小矢部少年少女発明クラブ
128	福井県	金沢市少年少女発明クラブ
129		小松市少年少女発明クラブ
130		羽咋市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2016年9月号 はつめいプリンス

調布少年少女発明クラブ(東京都)

立浪 光さん(中1)



小3のときに発明クラブに参加して以来活動5年目になります。今は電気工作の作品をつくっています。今まで作った中で一番楽しかった作品は、テレビのリモコンで操縦できるショベルカーです。将来は、「バックトゥーザフューチャー2」に出てきたような、ヒモが自動で締まる靴を作りたいなと思っています。

■近畿

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
131	福井県	福井市少年少女発明クラブ
132	滋賀県	大津少年少女発明クラブ
133		多賀町少年少女発明クラブ
134		永源寺少年少女発明クラブ
135		愛荘町少年少女発明クラブ
136		湖南市少年少女発明クラブ
137		彦根市少年少女発明クラブ
138		栗東市少年少女発明クラブ
139	京都府	長岡京市少年少女発明クラブ
140	大阪府	交野市少年少女発明クラブ
141		東大阪市少年少女発明クラブ
142		大阪市森之宮少年少女発明クラブ
143		大阪市日本橋少年少女発明クラブ
144		大阪市生野少年少女発明クラブ
145		兵庫県
146	兵庫県	淡路少年少女発明クラブ
147		伊丹市少年少女発明クラブ
148		姫路少年少女発明クラブ
149		奈良県
150	奈良県	高取町少年少女発明クラブ
151		奈良市少年少女発明クラブ
152		和歌山県
153	和歌山県	海南市少年少女発明クラブ
154		和歌山市少年少女発明クラブ
155		御坊市少年少女発明クラブ
156		紀の川市少年少女発明クラブ
157		有田川町少年少女発明クラブ
158		橋本市少年少女発明クラブ
159		田辺市少年少女発明クラブ
160		新宮市少年少女発明クラブ
161		岩出市少年少女発明クラブ

■中国

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
162	鳥取県	鳥取市少年少女発明クラブ
163	島根県	出雲少年少女発明クラブ
164		大社町少年少女発明クラブ
165		日原少年少女発明クラブ
166		松江少年少女発明クラブ
167	岡山県	玉野市少年少女発明クラブ
168		津山市少年少女発明クラブ
169		岡山市少年少女発明クラブ
170	広島県	広島少年少女発明クラブ
171		呉市少年少女発明クラブ
172		東広島市少年少女発明クラブ
173		福山少年少女発明クラブ
174	山口県	柳井市少年少女発明クラブ
175		山口市少年少女発明クラブ
176		下関市少年少女発明クラブ
177		田布施町少年少女発明クラブ
178		防府市少年少女発明クラブ
179		宇部市少年少女発明クラブ
180		周南少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2017年1月号
はつめいプリンセス

都留少年少女発明クラブ(山梨県)

名取 愛依さん(小4)
名取 蒼依さん(小6)



姉妹で発明クラブに所属し、今年度は、地域活性化アイデア創作活動に取り組み、2人で八朔祭りの山車を製作しました。ひたすら木工工作、色塗りをし、色鮮やかな山車を仕上げました。

少年少女発明クラブニュース 2016年11月号
はつめいプリンセス

湖西少年少女発明クラブ(静岡県)

袴田 実玖さん(小6)

3年生から発明クラブに入り、物作りの大変さ、楽しさ、そして大切さを学びました。小学校最後の発明くふう展では、「ランドセル型持ち運び式えんぴつ立て」を作りました。見た目をかわいく、軽くて楽に運べるように全て紙で作りました。発明・工夫の楽しさを下級生のクラブ員に伝えていきたいです。



NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
181	徳島県	阿南市少年少女発明クラブ
182		北島町少年少女発明クラブ
183		三好少年少女発明クラブ
184	香川県	三木町少年少女発明クラブ
185		三豊市少年少女発明クラブ
186		東かがわ市少年少女発明クラブ
187	愛媛県	今治市少年少女発明クラブ
188		砥部町少年少女発明クラブ
189		松山市少年少女発明クラブ
190	高知県	南国市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2017年3月号 はつめいプリンセス

多治見市少年少女発明クラブ(岐阜県)

ヴァンフェロー 櫻子 (チェリー)さん(中1)



4年生から発明クラブに入り、
普段の生活から発明のヒントを得て、
アイデアを出し、工夫、改善をしてもづくり
をする楽しさを学びました。中学生になっ
てからも、いろいろな事に挑戦し、私が今ま
で学んだことを下級生のクラブ員に
伝えていきたいです。

発明協会発行「少年少女発明クラブニュース」(奇数月発行)では、毎号の表紙で発明クラブの紹介をしています。
今回の報告書では、2016年度に表紙を飾った「はつめいプリンセス&プリンス」をご紹介します。
※所属・学年は掲載時のものです。

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
191	福岡県	北九州市少年少女発明クラブ
192		飯塚少年少女発明クラブ
193		くろめ少年少女発明クラブ
194	佐賀県	武雄市少年少女発明クラブ
195		佐賀市少年少女発明クラブ
196	長崎県	長崎市科学館少年少女発明クラブ
197		諫早市少年少女発明クラブ
198	熊本県	荒尾少年少女発明クラブ
199	大分県	大分少年少女発明クラブ
200		別府少年少女発明クラブ
201		きつき少年少女発明クラブ
202		佐伯市少年少女発明クラブ
203		ひた少年少女発明クラブ
204		豊後高田少年少女発明クラブ
205		宇佐少年少女発明クラブ
206		くにさき少年少女発明クラブ
207		中津少年少女発明クラブ
208		宮崎県
209	宮崎少年少女発明クラブ	
210	延岡少年少女発明クラブ	
211	鹿児島県	鹿児島少年少女発明クラブ
212	沖縄県	なは市少年少女発明クラブ

★ウェブサイト「はつめいキッズ」★

ホームページ「はつめいキッズ」は、発明協会の青少年創造性開発育成事業紹介に加え、ホームページを訪れた子どもたちのさまざまな意欲を刺激し応援するコンテンツになっています。

【URL】 <http://kids.jiii.or.jp>

- 少年少女発明クラブ
 - 地域活性化アイデア創作活動
 - 全日本学生児童発明くふう展
 - 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
 - 未来の科学の夢絵画展
 - 青少年創造性開発育成海外交流派遣団
- + 工作のヒント、発明クラブニュース、過去の受賞作品や大会動画などが掲載されています



2016年度青少年創造性開発育成事業に係る協賛金及び寄付金

当協会の「青少年創造性開発育成事業」に対し多くの企業・団体から協賛金及び寄付金を賜りました。多くのご支援に対し心より御礼を申し上げます。

皆様からいただいた貴重な資金を活用させていただき、少年少女発明クラブ、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、全国少年少女チャレンジ創造コンテストをはじめとする「青少年創造性開発育成事業」を実施することができました。これにより、モノづくりを通じた青少年の科学的な考え方、発明工夫の重要性等の意識向上を図ることができ、我が国の次代を担う創造性豊かな人材の育成に繋げさせていただきました。

◆ゴールドスポンサー

AsahiKASEI

Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO

EBARA

食品加工機械・製菓機械
カジワラ

Canon

KOBIRO

SHIMA SEIKI

より、そう、ちから。
東北電力

JPMA
日本弁理士会

Panasonic

PIGEON

HITACHI
Inspire the Next

MITSUBISHI
ELECTRIC
Changes for the Better

◆シルバースポンサー

AMADA

NTT DATA

サタケ

EPSON
EXCEED YOUR VISION

DNP 大日本印刷

武田薬品工業株式会社

DENSO

TOYOTA
株式会社 豊田自動織機

SEL
発 半 導 体 エ ネ ル ギ ー 研 究 所

三菱重工
この星に、たしかな未来を

◆ブロンズスポンサー

アイシン精機株式会社、アステラス製薬株式会社、株式会社石井鐵工所、キタムラ機械株式会社、寿産業株式会社、株式会社ササキコーポレーション、株式会社ジェイテクト、株式会社島津製作所、住友電気工業株式会社、第一三共株式会社、東レ株式会社、豊田合成株式会社、トヨタ車体株式会社、トヨタ紡織株式会社、日本発条株式会社、日産自動車株式会社、株式会社日立ハイテクノロジーズ、富士フイルム株式会社、ブラザー工業株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社山本製作所

◆寄 附

トヨタ自動車株式会社



青少年創造性開発育成事業 報告書2016

Annual Report 2016
Promotion of Young People's Creativity

発行／2017年6月



お問い合わせ先／

公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14

TEL 03-3502-5434 FAX 03-3502-3485

公益社団法人発明協会 Webサイト <http://koueki.jiii.or.jp/>

はつめいキッズWebサイト <http://kids.jiii.or.jp/>



本書の全部または一部の無断転用を禁じます。
©2017 Japan Institute of Invention and Innovation